

大 学 関 係 者 資 料

1. 大学コンソーシアム沖縄の活動・・・・・・・・・・P1
2. 沖縄国際大学資料・・・・・・・・・・・・・・・・P5
3. 沖縄大学資料・・・・・・・・・・・・・・・・P7

1. 大学コンソーシアム沖縄

一般社団法人 大学コンソーシアム沖縄



設立

○平成26年9月26日に、一般社団法人大学コンソーシアム沖縄として設立
代表理事:瀬名波 榮喜 理事:各大学等の学長及び校長

目的

○沖縄県内の大学が、相互に建学の精神を尊重しつつ、有機的連携により教育研究を一層充実発展させ、また産学官の連携により地域社会の活性化と発展に貢献することを目的とします

事業内容

- 1 グローバル人材の育成 2 単位相互 3 学生間の連携・交流 4 共同研究
- 5 教職員の研修、交流及び情報交換 6 小中高大連携活動 7 公開講座(県民フォーラム・出前講座)
- 8 産学官連携 9 各種の地域社会貢献 10 その他前各号に掲げる事業に附帯または関連する事業

平成27年度事業

- 1 大学コンソーシアム沖縄設立記念シンポジウム2015の開催
- 2 県民向け公開講座の開催
- 3 沖縄学生サミット2015の開催

1

1 大学コンソーシアム沖縄 設立記念シンポジウム2014



シンポジウムでは、高等教育機関の関係者のみならず、一般の方も含め200名以上のご参加をいただき、教育・研究・社会貢献等の分野において、コンソーシアムが県民のために何が実現できるのかを話し合うとともに、コンソーシアムに関する理解を深めました。

日 時 : 平成26年12月23日(火・祝) 14:00~17:30

場 所 : 沖縄コンベンションセンター会議棟

【プログラム】

■挨拶

■基調講演

稲嶺恵一氏(元沖縄県知事)、里見朋香氏(文部科学省大学振興課長)
谷口功氏(熊本大学長、全国コンソーシアム協議会代表幹事)

■質疑応答型のパネルディスカッションの開催



2

2 大学コンソーシアム沖縄主催 第1回県民向け公開講座

「がんに対する放射線科診療の進歩～最新の診断・治療から緩和まで～」

大学コンソーシアム沖縄では、地域社会の活性化及び沖縄県の発展と進行に寄与することをめざし、その取組の一つとして、構成機関による持ち回りでの県民向け公開講座を開催します。
本年1月に琉球大学からスタートし、各大学等による公開講座を毎月開催します。

日時：平成27年1月25日(土)

場所：沖縄県立博物館・美術館

【プログラム】

主催者挨拶

講演

- ・がんの画像診断最前線、PET診断でどこまでわかる？
- ・怖くない、からだに優しいがん放射線治療
- ・お薬が中々効かない、がんによる辛さを少しでも楽にするために



3

3 大学コンソーシアム沖縄主催 沖縄学生サミット2015



沖縄学生サミット2015は、沖縄県内の11の大学・短期大学・高等専門学校の学生が一堂に集まり、学生による治世のネットワークを広め、各大学等の特色ある学風の交流を深め、英知を結集することにより、学生の未知なる可能性を引き出し、地域社会の活性化と発展に寄与するとともに、世界に通用するユニバーサルな人材を育成することを目的とし、実施しました。

日時：平成27年3月7日～8日

場所：琉球大学千原キャンパス内(主会場：第一体育館)

【プログラム】

3/7(土)

- ・オープニングセレモニー
- ・沖縄科学技術大学院大学(OIST)のジョナサン・ドーファン学長による講演
- ・各大学によるプレゼンテーション

3/8(日)

- ・ワークショップ
- ・スポーツイベント
- ・各大学のブースによる紹介



4

学生ボランティアセンター(仮称)概念図(案)



学生ボランティア派遣

- 学習支援
- 生活指導
- 芸術活動
- 共同給食
- その他

学習支援教室

子供食堂

子供向けアクティビティ

一般財団法人大学コンソーシアム沖縄が実施する事業

定款第4条

本法人は、目的に資するため次の事業を行う

6. 小中高大連携活動
9. 各種の地域社会貢献

学生ボランティアセンターについては、内閣府が沖縄県に補助金(沖縄子供の貧困緊急対策事業費補助金)を交付し、沖縄県は琉球大学に事業を委託し実施。

2. 沖縄国際大学

■沖縄国際大学では奨学金を借りている学生の割合

本学では、56%（学生数 5,551 名中 3,108 名）の学生が日本学生支援機構の奨学金の貸与を受けています。

■沖縄国際大学では独自の奨学金制度

本学には、18 種の奨学金制度があります。

■独自財源による給付型の奨学金の額。

本学独自の奨学金は全て給付型となっており、2015 年度予算は 212,013,000 円となっています。2005 年度予算は、90,617,000 円でしたので、10 年で 121,396,000 円の増額となっています。

■経済的に困難な学生に対する、奨学金以外で救済する制度

経済的事情により、定められた期限内に学費納入が出来ない学生に対して、延納を認めています。

■2015 年から過去 10 年間で奨学金を希望する学生の増減

2005 年度は応募者数 377 名（採用者：166 名）だったのに対して、応募者数は年々増え続け、2015 年度は 1,333 名（採用者：692 名）の応募がありました。

なお、本学の特色的な奨学金として被災（地震、台風、火災等）による家計困窮者を対象とした「被災奨学金」、本学後援会からの寄付を原資とし、家計支持者の事情等で家計が急変した学生を対象とした「後援会奨学金」、兄弟姉妹を対象とした「兄弟姉妹等奨学金」があります。また現在、県内の遠隔地出身学生を支援する「離島遠隔地出身学生支援奨学金」を検討中です。詳細は、本学ホームページ「奨学金制度」を参照ください。

URL: <http://www.okiu.ac.jp/campuslife/scholarship/index.html>

3. 沖縄大学

学生の貧困の現状と対処
(沖縄大学)

1) 学生の状況

学費延納者数(納期限 15 年 9 月 15 日までに支払うことのできなかった学生)
445 名(正式に延納届を出したのが 365 名)

2) 大学の対策

- ・大学予算による給付型奨学生 約270名
- ・児童福祉特別奨学生 6 人
授業料相当額全額 72 万円
入学金一同窓会が全額給付

3) 障害学生

- ・支援が必要な学生—9名
(大学に報告のある、障害学生数は現在17名)。
- ・障害学生コーディネータ3名を配置

<貸与方奨学生>

- 日本学生支援機構利用者 1138名(学生の半分以上が利用)